

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-97	中学校	国語科	書写	第1・2・3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 704	中学書写 一・二・三年		

1. 編修の基本方針

「書く力」を、ぐんと伸ばす。

私たちが日常的に使っている文字には、書きやすさや読みやすさ、形の美しさを追求してきた先人の知恵と経験が詰まっています。さまざまな文字に出会い、その多様な表現に触れながら、書くことの楽しさを味わうことで、生徒が文字文化の豊かさを理解し、書写活動への意識を高めることができる教科書を目ざしました。

1 書く楽しさや達成感が感じられる

——「楽しい!」「おもしろい!」が、学ぶ意欲を高めます。

文字を書く楽しさや喜びが体感できる教材、学ぶ達成感を感じて取り組める構成を目ざしました。書写を学習する目的を明確にし、「何を・どう学ぶか」「何ができるようになったか」「身につけた力をどう生かすか」が生徒自身にも分かる構成が、主体的な学習姿勢を育成します。

2 書写の基礎・基本が、無理なく身につく

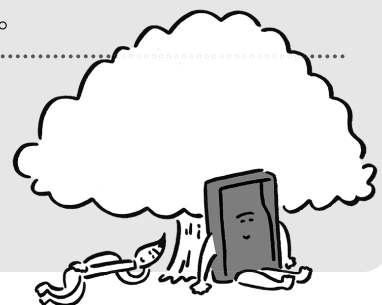
——「文字を整えて書きたい」という、生徒の願いに応えます。

すべての書写要素を効率的に学習できるように、学習内容を焦点化して示し、生徒の発達段階に応じて段階的に配列しました。綴じ込みの「書写ブック（硬筆練習帳）」には、毛筆の学習を生かして、硬筆で書く活動を豊富に位置づけています。習得と活用を効果的に繰り返すことによって、確実に書写の力を育成します。

3 学んだことが、日常に生きる

——「書写学習は何に生かせるのだろうか?」という疑問に答えます。

身につけた書写の力を日常に生かすヒントを満載しています。書写で培った力が、国語科をはじめとする各教科の学習場面や学校・社会生活でも生きて働くよう教材化を工夫し、書写で学習したことを実感できる構成としました。



1

書く楽しさや達成感が感じられる

— 「楽しい!」「おもしろい!」が、学ぶ意欲を高めます。

●主体的に取り組める言語活動を提示しました。

教材の冒頭には、文字の特徴や書き方のポイントを、生徒が考えたり話し合ったりする活動を位置づけました。観察や相互比較を通して主体的に考えることで、文字の書き方への理解を深め、思考力・判断力・表現力を養います。

【男女キャラクター】
生徒とともに成長し、課題解決や着想のヒントを与えます。

行書 ← 楷書

1 考えよう

「緑」を行書で書くとき、点画はどう変わるだろう。

楷書と行書を比較して、筆使いの違いについて話し合う活動。教材冒頭には、文字の書き方の原理・原則を発見する活動を位置づけました。

p.54 「行書の特徴」

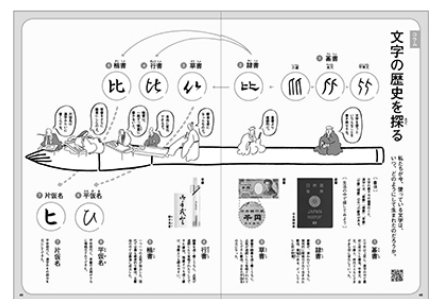
【硯・筆キャラクター】

●見通しをもって学び、成長を実感できる構成です。

生徒が、学習のゴールを見通した上で主体的に学習できるよう、巻頭に中学校3年間の目標を掲げるとともに、新たな学習事項である行書についてわかりやすく解説しました。また、全教材に「目標」及び「学習を振り返る」(自己評価の観点)を明示し、知識・技能の定着や、自己の成長を確かめられる構成としました。

●「文字のおもしろさ」を感じられる教材が豊富です。

文字への理解・関心を高めるコラムを随所に設定しました。文字の歴史や書文化への理解を深めたり、活字やデザイン文字等、伝達表現としての文字に目を向けたりすることで、生徒の視野を広げ、興味・関心を喚起できるよう工夫しました。



p.48-49 「文字の歴史を探る」

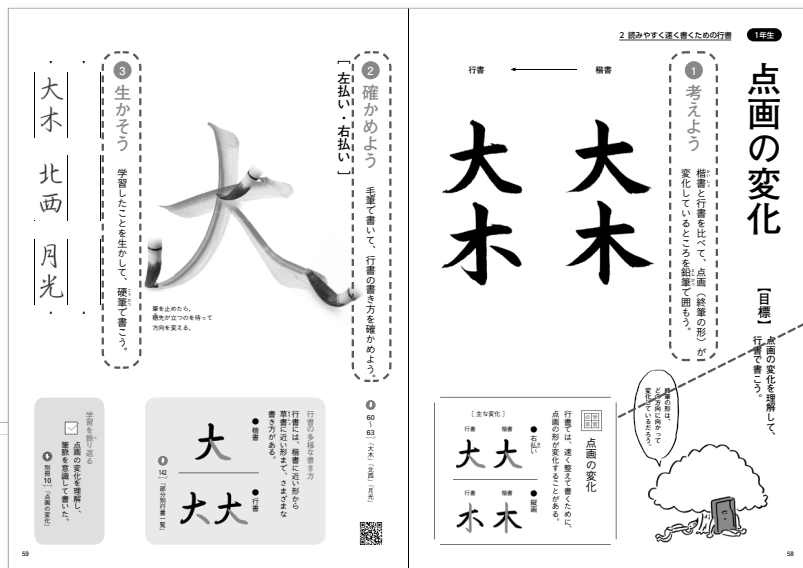
2

書写の基礎・基本が、無理なく身につく

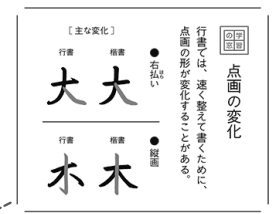
— 「文字を整えて書きたい」という、生徒の願いに応えます。

◎「何を・どう学ぶか」を、わかりやすく示しました。

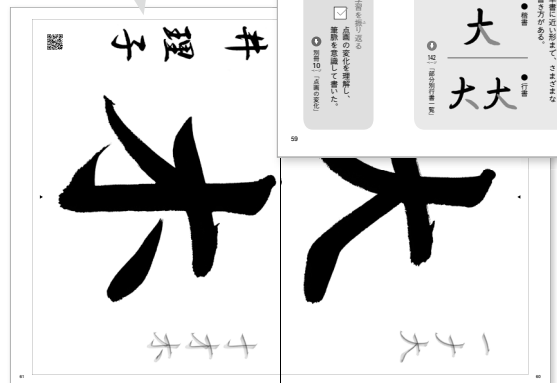
中学校で初めて学習する行書の主要教材は4ページ構成とし、基礎・基本をしっかりと習得できるようにしました。学習の内容と活動の流れを分かりやすく示し、全教材に、学習のポイントがひと目で分かる「学習の窓」を設定しました。



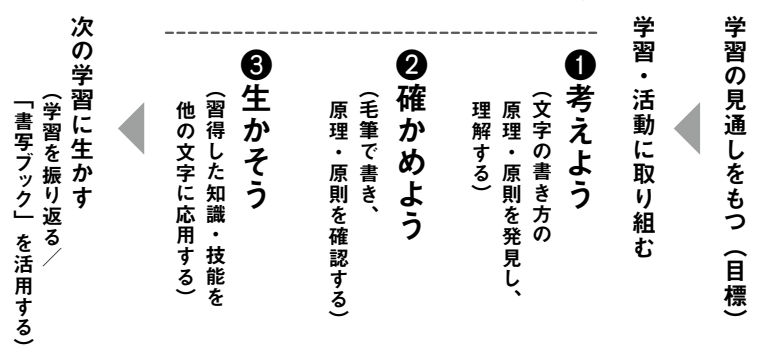
毛筆の教材文字は半紙原寸大で掲載し、書きやすさにも配慮しました。



各教材に「学習の進め方」を示しました。見通しをもつことで、主体的に学習に取り組むことができます。



p.58-61 「点画の変化」



◎学びを確かめ、深める工夫— 「学習のはじめに」「書写ブック」

巻頭には、小学校で学習した書写の基礎・基本を確認する「学習のはじめに」を新設。縦じ込みの「書写ブック(硬筆練習帳)」では、文字の書き方を確認しながら、硬筆で繰り返し練習し、書く力を定着させることができます。



p.32 「学習のはじめに (姿勢・筆記具の持ち方)」



p.1-28 「書写ブック」

小学校での学習とのスムーズな接続を図ることができます。

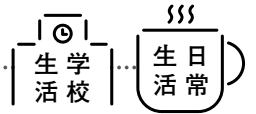
文字の書き方の原理・原則と、豊富な書き込み欄を設けた28ページの硬筆練習帳。

3

学んだことが、日常に生きる

— 「書写学習は何に生かせるのだろう？」という疑問に答えます。

◎日常とのつながりが実感できる教材を、豊富に設定しました。



生徒が書写学習に親しみをもち、文字を書く意欲を喚起できるよう、学校生活や日常生活に生かすヒントを豊富に紹介し、教材の題材は、生徒の日常生活から幅広く取り上げました。



p.80-81「行書を活用しよう」

“読みやすく速く書く”ことができる行書を、日常に生かすヒントが満載です。



p.114「はがきの書き方」

巻末には、手紙の定型書式等を「日常に役立つ書式」としてまとめました。

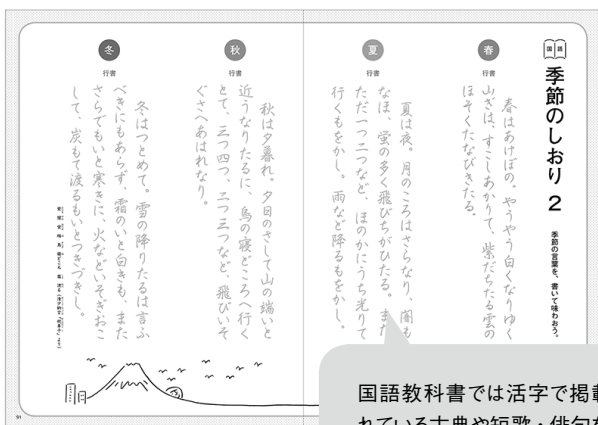


p.84「『デザインと文字』を考えよう」

◎国語教科書と連動させて学習することができます。



国語の教科書と連動できる教材を、豊富に設定しました。国語と一体的に扱うことで、学習活動に必然性が生まれ、単元全体の配当時数にも余裕が生まれます。



p.90-91「季節のしおり 2」

国語教科書では活字で掲載されている古典や短歌・俳句を書くことで、言葉や表現への理解が一層深まります。



p.82「壁新聞を作ろう」

国語教科書と同じ題材の作例を、書くときのポイントとともに手書きで掲載しました。

2. 対照表

図書館の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当頁
書く道具が生まれる		○伝統と文化を尊重し、それらをはぐんできた我が国と郷土を愛するとともに、社会の発展に寄与する態度を養うために、生徒の身の回りにおける用具用材の製造写真を紹介した。【第五号】	表2, 29
ブック 書写		○小学校から中学校で学習する書写要素をまとめることにより、生徒に幅広い知識と教養を身につけさせるとともに、日常への定着をはかりながら興味・関心を持って学習できるよう配慮した。【第一号】 ○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、各学年で学習する書写の要素とリンクしながら硬筆で確かめられるよう、書写ブックを新設した。【第二号】	1-28
巻頭	さあ、書こう。		30-31
	学習のはじめに（姿勢・筆記具の持ち方）	○幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、3年間の目標を示した。また全教科の基礎となる姿勢・執筆や、小学校で学習した書写の基礎・基本的要素を示した。【第一号】	32-33
	学習のはじめに（字形の整え方）	○男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うために、学習をサポートする写真やイラストにおいては、男女の平等や役割に配慮した。【第三号】	34-35
	学習の進め方		36
1読みやすく 書くための 楷書	【やってみよう】 漢字を分解してみよう		38-39
	漢字の筆使い	○幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、小学校で学習した楷書の基礎的・基本的な知識や技能について、生徒が自ら考えて取り組めるよう配慮した。【第一号】	40-43
	楷書に調和する仮名（いろは歌）	○生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために、配列教材では、季節の情景を詠んだ俳句を取り上げた。【第四号】	44-45
	文字の大きさと配列（俳句）	○伝統と文化を尊重し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、平仮名の元になった漢字の歴史を探り、その変遷とともに我が国との深い関わりを示した。また、それらをはぐんできた我が国と郷土を愛するために、平仮名の成立をいろは歌とともに学習できるように配慮した。【第五号】	46-47
	【コラム】 文字の歴史を探る		48-49
	【学校生活】 目標を書こう		50
2読みやすく 速く 書くための 行書	【やってみよう】 速さを比べてみよう		52-53
	行書の特徴／丸み・点画の連続	○真理を求める態度を養うことができるよう、単元名と教材名、目標、リード文は、生徒の立場に立ったものとし、「学習の窓」で、そこでの学習ポイントを確認できる構成とした。【第一号】	54-57
	点画の変化	○自主及び自律の精神を養うことができるよう、生徒自らが学習を振り返りながら次の学習へと進めるよう、各教材には自己評価欄を設定した。【第二号】	58-63
	【国語】 季節のしおり1	○男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うために、学習をサポートする写真やイラストにおいては、男女の平等や役割に配慮した。【第三号】	64-65
	点画の省略	○生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、硬筆教材には、四季の美しい景色と自然の豊かさを感じられる文を選定し、イラストにも配慮した。【第四号】	66-69
	筆順の変化	○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うために、本の帯やノート作成といった国語の授業や、文化祭などの学校行事に関連した教材を設定することで、書写での学習を生徒の日常に生かせるよう配慮した。【第二号】	70-73
	行書に調和する仮名（いろは歌）	○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うために、新聞教材を取り上げた。【第二号】	74-75
	行書と仮名の調和		76-79
	【国語・学校生活】 行書を活用しよう		80-81
	【国語】 壁新聞を作ろう		82
3文字を使い分ける	【やってみよう】 「デザインと文字」を考えよう		84-85
	楷書と行書の使い分け	○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、生徒に身近なテレビ番組のタイトルデザインにも、書写で学習する要素が使われていることを示した。【第三号】	86-87
	【コラム】 物語を千年書き継ぐ	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、「源氏物語」が文字文化的にどのように受け継がれてきたのかを示した。【第五号】	88-89
	【国語】 季節のしおり2	○生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、硬筆教材には、四季の美しい景色と自然の豊かさを感じられる文を選定し、イラストにも配慮した。【第四号】	90-91
	全国文字マップ	○自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、生徒の身近に存在する全国文字マップを取り上げた。【第三号】	92-95
	文字の使い分け	○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うために、生徒が日常的に目にする新聞を題材として書体を意識させ、また様々な文字がユニバーサルデザインの観点で表示されていることを示した。【第二号】	96-97
	【コラム】 UD書体って何だろう		98-99
	三年間のまとめ	○自主及び自律の精神を養うために、これまでに学習したことを振り返ることができるよう、中学校3年間で学習する書写の要素を見開きで示した。【第二号】	100-103
	私の好きな言葉	○生徒が自分の好きな文字を考えて書くことにより、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。【第三号】	104-105
	【国語】 季節のしおり3		106-107
	【国語】 冊子にまとめよう	○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うために、現代に受け継がれてきた先人の優れた筆跡を示した。【第五号】	108
	【発展】 なりきり、書聖・王羲之		157
	4日常に 役立つ 書式	手紙の書き方（縦書き）	
手紙の書き方（横書き）		○伝統と文化を尊重し、それらをはぐんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、手紙や封筒の書式、時候の挨拶などの伝統的な定型文や書式、全国都道府県名一覧など、伝統と文化を尊重した教材を意識して示した。【第五号】	112-113
はがきの書き方／都道府県行書一覧		○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うために、原稿用紙や願書、送り状や年賀状教材を設定することで、書写での学習を生徒の日常に生かせるよう配慮した。【第二号】	114-115
入学願書・送り状・原稿用紙の書き方			116-117
【日常生活】 年賀状を書こう			118
5中学生 のための 漢字 字典	常用漢字表（2136字）		120-135
	人名用漢字表（863字）	○「常用漢字」に「人名用漢字」を加え、「部分別行書一覧」に続いて「片仮名」「数字」や「アルファベット」を一覧で示すことにより、幅広い知識と教養を身につけるとともに、興味・関心をもって学習できるよう配慮した。【第一号】	136-141
	部分別行書一覧		142-143
	片仮名・漢字・アルファベット		144
書き初め（1年生・2年生・3年生）		○書き初め教材を設定することで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛することについて生徒が意識をもてるよう配慮した。【第五号】	145-156

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての生徒にとって使いやすく、わかりやすい教科書を実現しました。

- ・特別支援教育の専門家から校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。
- ・カラーユニバーサルデザインの専門家から校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、誰もが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。
- ・目次や単元名、「学習の窓」には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いました。

編修趣意書

学習指導要領との対照表， 配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-97	中学校	国語科	書写	第1・2・3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 704	中学書写 一・二・三年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 「書写ブック（硬筆練習帳）」で，書く力の定着を図る。

—— 毛筆での学習が硬筆に生きるよう，教材化を図りました。

◎文字の書き方を確認しながら，硬筆で繰り返し練習することができます。

綴じ込みの「書写ブック（硬筆練習帳）」には，毛筆の教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を，豊富に設定しました。必要に応じて既習事項を確認しながら，書写の基礎・基本を確実に身につけられる構成となっています。

教科書の関連ページで，文字の整え方を確認する。

●本編

点画の変化

●書写ブック（硬筆練習帳）

毛筆で学習したことを硬筆に生かして，書写の学びを深める。

上段に文字の整え方を示し，下段に同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定しました。

2

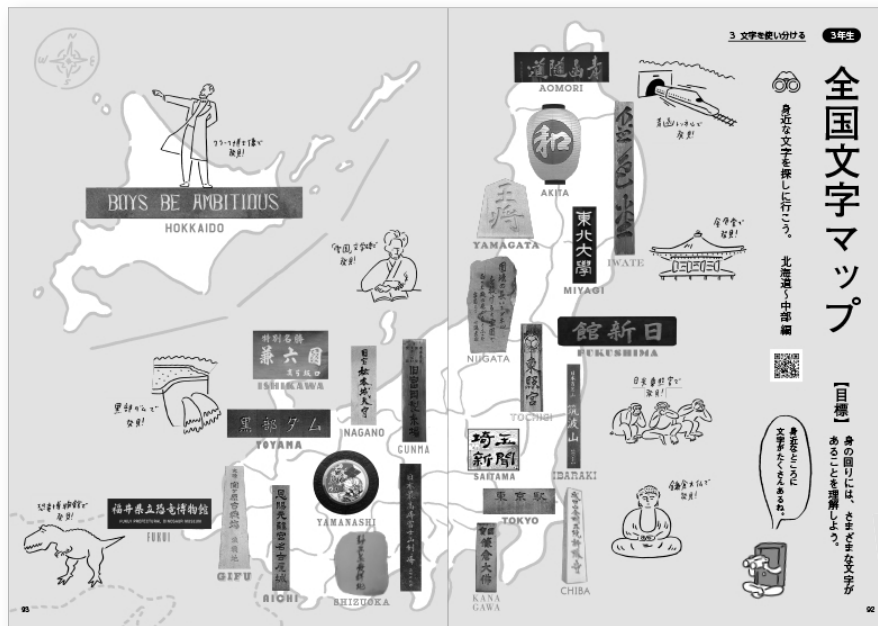
文字文化の豊かさに触れる，多様な教材。

—— さまざまな角度から，生徒の興味・関心を喚起します。

◎文字や文字文化への理解・関心を高める教材を随所に設定しました。

日常に見られるさまざまな文字（手書き文字や活字）や用具の製造工程などを取り上げ，文字文化の豊かさを理解し，生徒の社会生活における文字への意識を引き出せるよう工夫しました。

身の回りの
多様な表現

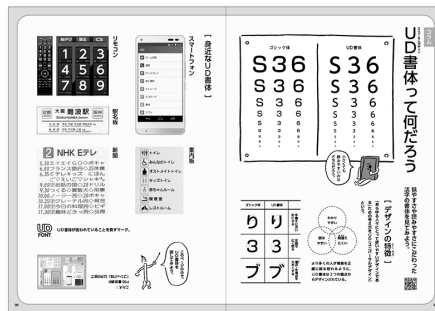


身近なところに
文字がたくさんあるね。

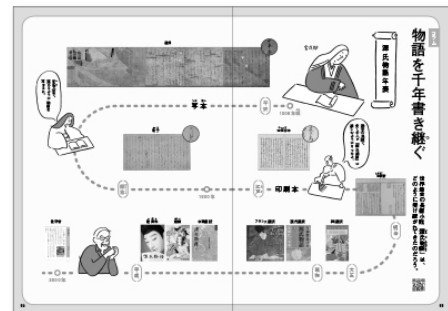


p.92-95「全国文字マップ」

文字の役割

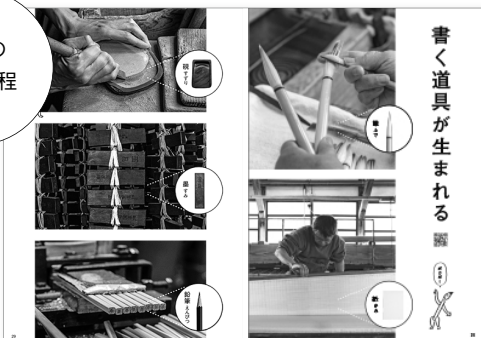


p.98-99「UD(ユニバーサルデザイン) 書体って何だろう」



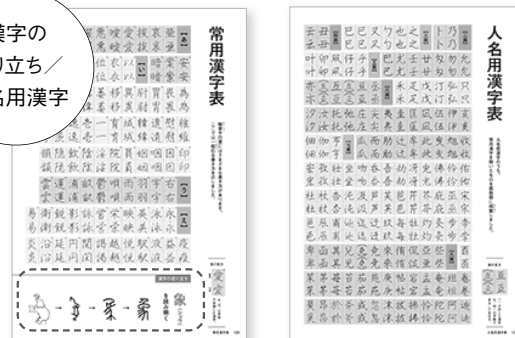
p.88-89「物語を千年書き継ぐ」

用具の
製造工程



p.表2,29「書く道具が生まれる」

漢字の
成り立ち
人名用漢字



p.120-141「常用漢字表・人名用漢字表」

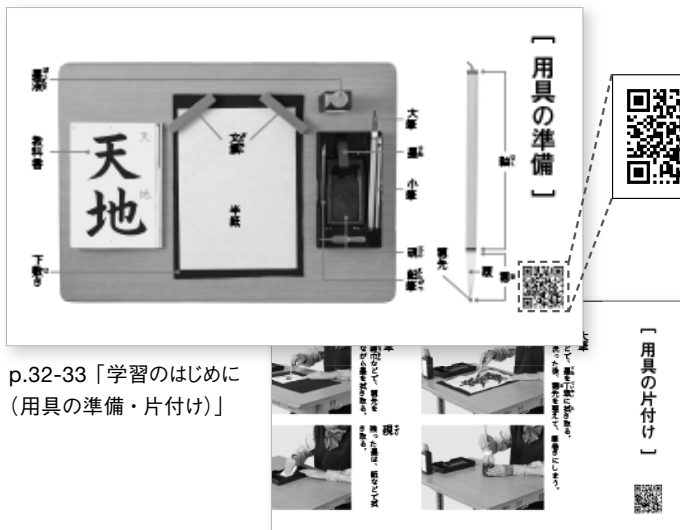
3

学習をサポートする、豊富な動画コンテンツ。

—— 用具の準備・片付けから姿勢・筆記具の持ち方、運筆動画まで。

●「用具の準備・片付け」を、動画でサポートします。

教科書紙面に「二次元コード」がある教材では、スマートフォンやタブレットを使って、動画コンテンツを閲覧することができます。「用具の準備・片付け」では、スムーズに用具の出し入れを行う手順を分かりやすく解説しています。



動画「用具の準備」(1分50秒)



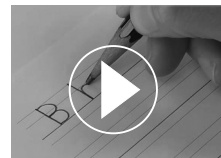
動画「用具の片付け」(3分)

●運筆動画で、理解がぐっと深まります。

毛筆教材の筆使いを確認できる運筆動画や、正しい姿勢・筆記具の持ち方の解説動画、アルファベットの書き方等の豊富な動画コンテンツが、学習をサポートします。



動画「大木」の筆使い



動画「アルファベットの書き方」

4

特別支援教育・ユニバーサルデザインへの対応。

—— すべての生徒にとって使いやすく、分かりやすい教科書のために。

●特別支援教育の観点から、専門家の指導・校閲を受けました。

- 特別支援教育の専門家による全ページの校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。 特別に支援が必要な生徒にとっても、混乱が生じにくく学びやすい紙面です。
- カラーユニバーサルデザインの専門家による厳しい校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、誰もが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。
- 読みやすさを考慮して独自に開発した、オリジナルの教科書体を使用しています。 目次や単元名、「学習の窓」には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いました。



教科書体



UD書体
(ユニバーサルデザイン)



手書き文字

教科書の特徴

[第1・2・3 学年]

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の学習を通して幅広い知識・教養を身につけるとともに、書写で培った「文字を正しく整えて速く書く力」を他教科や日常の言語生活で生かす態度を育成できるよう配慮しました。 ・知識・技能を習得し、課題解決を行う過程で、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など、「生きる力」を支える能力を養えるよう配慮しました。
<p>学習指導要領の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された「我が国の言語文化に関する事項」の「書写」の指導事項を系統的かつ効果的に学習できるよう、各単元・教材での学習内容を焦点化し、生徒の発達段階を考慮しつつ、段階的に配列しました。
<p>基礎・基本的な知識・技能の習得と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、着実に基礎・基本を定着できるよう、1年から3年までの内容を1冊にまとめました。 ・全教材に学習のポイントがひと目で分かる「学習の窓」を設け、他の文字を書くときにも普遍的に活用できる基礎・基本、原理・原則を明確に示しました。 ・別冊の硬筆練習帳「書写ブック」を新設し、毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を豊富に設定しました。硬毛の密接な関連を図り、毛筆での学習が硬筆に生きるよう工夫しました。
<p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に中学校3年間の目標を掲げるとともに、新たな学習事項である行書について分かりやすく解説しました。また、全教材に「目標」及び「学習を振り返る」(自己評価の観点)を明示し、知識・技能の定着や自己の変容を高められる構成としました。 ・生徒が見通しをもって、主体的に学習に取り組むことができるよう、各教材は、①考えよう(原理・原則の発見)→②確かめよう(書いて原理・原則を確認)→③生かさう(日常の文字に生かす・振り返り)という展開が、ひと目で分かる構成にしました。巻頭ページでは、「学習の進め方」を写真で分かりやすく示しました。 ・教材冒頭には、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を設定し、対話を通して主体性や思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮しました。
<p>「文字文化」への理解を深めるための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある文字を取り上げた「全国文字マップ」(p.92-95)、見やすさ・読みやすさにこだわった活字(ユニバーサルデザイン書体)を扱ったコラム(p.98-99)、書の用具の製造工程を紹介した「書く道具が生まれる」(表2,p.29)など、文字や文字文化への理解・関心を高める教材を随所に位置づけました。
<p>教材化にあたっての工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆教材では、朱墨や筆使いを示す写真を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいように工夫しました。 ・教科書紙面に「二次元コード」がある教材では、運筆動画や、用具の準備・片付けの解説動画など、スマートフォンやタブレットを使って閲覧することができる豊富な動画資料を用意しました。 ・硬筆・毛筆とも、生徒の発達段階に即した字体で示しました。また、生徒の混乱を招かないよう、楷書・行書ともに書きぶりを一貫させ、部分の形も統一しました。
<p>国語科国語や他教科、日常生活との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「行書を活用しよう」(p.80-81)や「目標を書こう」(p.50)では豊富な作例を掲載し、書写で習得した知識・技能を、国語や他教科・学校生活に役立てる方法をイメージできるよう工夫しました。 ・「日常に役立つ書式」(p.110-118)では、手紙やはがき、原稿用紙等の書式を整理して示し、身につけた書写力を日常生活に生かす手がかりとしました。
<p>道徳との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「季節しおり1~3」では古典文学や短歌・俳句を書いて味わう活動を設定したり、全学年に書き初め教材を設定したりするなど、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するための素地を培えるよう配慮しました。 ・「私の好きな言葉」(p.104-105)では、卓球の伊藤美誠選手や漫画家の小山田哉さんの言葉を紹介し、生徒が自らも夢を描き、それに向かって行動しようとする意欲を高められるよう工夫しました。
<p>小学校・高等学校との接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に小学校での学習内容をまとめた「学習のはじめに(姿勢・筆記具の持ち方/字形の整え方)」を設け、小学校からの円滑な接続を図るとともに、基礎・基本を活用の中で定着できるよう配慮しました。 ・高等学校芸術科書道への関連を意識し、1年に「文字の歴史を探る」(p.48-49)、巻末に発展「なりぎり、書聖・王羲之」(p.157)を設け、生徒の興味・関心に応じて書写学習を深化・発展させられるよう配慮しました。
<p>特別支援教育・ユニバーサルデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童が学習に集中できるよう、主たる学習要素は大きく丁寧に、それに付随する要素は小さく簡潔に示し、大切なことがひと目でわかる、すっきりとした紙面構成を実現しました。 ・複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色を採用しました。
<p>文字・印刷・製本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いています。 ・強度が高く、鉛筆で書きやすい用紙を開発し、採用しました。 ・針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮しました。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容			該当頁	配当 時数	
		【知識及び技能】		その他の指導事項			
		(3) の事項	(1) の事項				
書く道具が生まれる					表2,29	適宜	
書写ブック	1年生	漢字の筆使い	エ (ア)	イ		3	2
		外形と中心／筆順	エ (ア)	イ		4-5	
		点画の組み立て方／ 部分の組み立て方	エ (ア)	イ		6-7	
		名文を書いてみよう1	ア, エ (ア)	イ		8-9	
		点画の変化	エ (イ)	イ		10-11	
	2年生	点画の省略	ウ (ア)	ウ		12-13	4
		筆順の変化	ア, ウ (ア)	ウ		14-15	
		部分別に練習しよう	ウ (ア)	ウ		16-17	
	3年生	名文を書いてみよう2	ア, ウ (ア)	ウ		18-19	1
		書写テストに挑戦しよう	エ (ア)	ア		20-21	
1～3	名文を書いてみよう3	ア, エ (ア)	ア		22-23	適宜	
1～3	都道府県名を練習しよう	1年エ (イ) 2年ウ (ア) 3年エ (ア)	1年イ・2年ウ・3年ア		24-25		
2～3	年賀状を書こう				26-27		
巻頭	さあ、書こう。 学習のはじめに（姿勢・筆記具の持ち方／字形の整え方） 学習の進め方					30-36	適宜
書くための楷書	1年生	【やってみよう】漢字を分解してみよう	エ (ア)	イ		38-39	3
		漢字の筆使い	エ (ア)	イ		40-43	
		楷書に調和する仮名（いろは歌）	ア, エ (ア)			44-45	
		文字の大きさと配列（俳句）	ア, エ (ア)	イ		46-47	
		【コラム】文字の歴史を探る	エ (ア)・(イ)			48-49	
		【学校生活】目標を書こう	エ (ア)	イ	B (1) ア	50	
2 読みやすく速く書くための行書	1年生	【やってみよう】速さを比べてみよう	エ (ア)・(イ)	イ	A (2) イ	52-53	2
		行書の特徴	エ (イ)	イ	A (1) オ (2) イ	54-55	
		丸み・点画の連続	エ (イ)	イ		56-57	
		点画の変化	エ (イ)	イ		58-63	
		【国語】季節のしおり1	ア, エ (ア)・(イ)	イ		64-65	
		点画の省略	ウ (ア)	ウ		66-69	
	2年生	筆順の変化	ウ (ア)	ウ		70-73	3
		行書に調和する仮名（いろは歌）	ア, ウ (ア)			74-75	
		行書と仮名の調和	ウ (ア)	ウ		76-79	
		【国語・学校生活】 行書を活用しよう	ウ (ア)・(イ)	ウ	B (1) 全	80-81	
		【国語】壁新聞を作ろう	ウ (イ)	ウ	B (1) 全	82	
		【やってみよう】 「デザインと文字」を考えよう	ウ (イ)			84-85	
2年生	楷書と行書の使い分け	ウ (イ)	ウ	A (1) オ (2) イ	86-87		
	【コラム】物語を千年書き継ぐ	ア, ウ (ア)			88-89		
	【国語】季節のしおり2	ア, ウ (ア)	ウ		90-91		
3年生	全国文字マップ	エ (ア)			92-95	2	
	文字の使い分け	エ (ア)	ア	A (1) オ (2) イ	96-97		
	【コラム】UD書体って何だろう	エ (ア)			98-99		
	三年間のまとめ	エ (ア)	ア		100-103		
	私の好きな言葉	エ (ア)	ア	B (1) ア・ウ	104-105		
	【国語】季節のしおり3	ア, エ (ア)	ア		106-107		
	【国語】冊子にまとめよう	エ (ア)	ア	B (1) 全 (2) イ	108		
【発展】なりきり、書聖・王羲之	エ (ア)			157	適宜		
4 日常に役立つ書式	手紙の書き方（縦書き・横書き） はがきの書き方／都道府県行書一覧 入学願書の書き方／送り状の書き方 ／原稿用紙の書き方	1年エ (ア) (イ) 2年ウ (ア) (イ) 3年エ (ア)	1年イ・2年ウ・3年ア	1年B (1) 全 (2) イ 2年B (1) 全 (2) イ 3年B (1) 全 (2) イ	110-117	適宜	
【日常生活】年賀状を書こう					118		
5 中学生のための漢字	常用漢字表 (2136字) 人名用漢字表 (863字) 部分別行書一覧 片仮名・数字・アルファベット	1年エ (ア) (イ) 2年ウ (ア) (イ) 3年エ (ア)	1年イ・2年ウ・3年ア		120-144	適宜	
書き初め	1年生「不言実行」文武両道「将来の夢」 2年生「新たな目標」「大志を抱く」 3年生「旅立ちの春」「伝統を守る」	1年エ (ア) (イ) 2年ウ (ア) (イ) 3年エ (ア)	1年イ・2年ウ・3年ア		145-156	適宜	

編修趣意書

発展的な学習内容の記述

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-97	中学校	国語科	書写	第1・2・3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 704	中学書写 一・二・三年		

1. 発展的な学習内容一覧表

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
157	なりきり, 書聖・王羲之 [発展]	1	高等学校芸術科学習指導要領 [書道I] 2 内容 A 表現 (2) ウ(ア) 古典に基づく基本的な用筆・運筆 B 鑑賞 (1) ア(ア) 作品の価値とその根拠 イ(ア) 線質, 字形, 構成等の要素と表現効果 や風趣との関わり (イ) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 と関連する。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数・1)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上, 隣接した後の学年等の学習内容 (隣接した学年等以外の学習内容であっても, 当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む) とされている内容
- 2…学習指導要領上, どの学年等でも扱うこととされていない内容